



平成23年度

コスモスの家通常総会開催

平成23年3月11日の東日本大震災から4ヶ月が経ちました。この大震災を境に原発問題を含め、「安心、安全の地域づくり」に対して、一人ひとりの関心が大きく高まっています。

去る6月19日(日)にコスモスの家の通常総会を開催し、平成22年度の各事業所の報告さらに第2回三田地域調査報告、それに伴う決算報告の承認がなされ、平成23年度の予算9千380万円を採決いたしました。

今年度は、コスモスの家の8事業の中の主な財源である、介護保険3事業、6千200万円を目指します。



平成24年度からの介護保

2011年夏号
季刊 No. 93

特定非営利活動法人「秋桜舎」コスモスの家
〒214 0034 川崎市多摩区三田二丁目五之三
TEL 044-931-1435 FAX 931-1444

険制度の見直しで要支援1、2、要介護1、2の軽度者を、介護保険制度からはずす国の施策が進んでいます。

これは、国の社会保障制度の切り捨て、財源負担を減らすのが狙いなのではないでしょうか？

この軽度者はずし、高齢者の日常生活に支障をきたし、予防どころか、重症化につながることは明白です。保険者である川崎市は、国が推し進めようとしている「軽度者外し」はストップ！と国に意見をあげるよう要請したいと思っております。昨年より、コスモスの家が事務局となつて同じ地域内にある明治大学理工学部建築学科園田研究室とともに取り組んできた「孤立しないで安心して生活するための調査」をもとに具体的な活動を公民協働ですすめていくことが、コスモスの家の重点課題となります。

(理事長 渡辺ひろみ記)

勤続10年以上、ボランティア10年以上の方々を表彰

一九八九年(平成元年)に、ボランティアではじまったコスモスの家が一九九九年、介護保険制度導入を前にして、特定非営利活動法人(NPO法人)秋桜舎を設立しました。それから10年が経過し、現在8事業で、常勤、非常勤86名のスタッフが働いています。今年度の総会で、10年以上勤続された方々22名と同じく10年以上ボランティアを続けてくださった方をその功労に感謝し、表彰状と記念品を贈りました。

合格おめでとう!

平成23年度、資格取得の合格者が3名ありました。今後の人材の資質の向上に、大きく期待し、合格を心からお祝いいたします。



「コスモスの家」二十年史 ようやく発刊

主婦たちがつくった「暮らしの砦」

NPO「コスモスの家」の二十年

NPO法人・秋桜舎設立十周年の記念事業である「コスモスの家」の二十年史をようやく出版する運びとなりました。

「たかが主婦、されど主婦(女)」たちが作ったNPO法人「コスモスの家」は、家事や育児、介護という暮らしを支えてきた主婦たちの感性と地域でのつながりを力にして二十年の歴史を積み重ねてきました。

自主的で、民主的な誰からも指示を受けず体制に組み込まれず、大きな既成組織に依存せず、真のNPOを作った歴史が綴られています。

本書は、どの章から読んでいただいても、住民や利用者が主人公、ボランティア、スタッフもそれぞれが主役「コスモスの家」

の真髄と面白さ、楽しさを感じていただけると思います。

また、今まで「コスモスの家」を支えてきた方々の座談会や寄稿文等には、多くの方々の「コスモスの家」への思い、長い道のりでの悩みや喜び、これからに向けての夢や展望が綴られたものとなっております。

ぜひ、一読下さいますよう、ご案内いたします。

＊自治体研究社より出版

★定価(本体1,714円+税)

コスモスの家を通してご購入いただくと、1,200円+郵送料300円となります。

★代金・郵送料振り込み先

郵便局振り込みの場合

口座番号002701013105

加入者名 コスモスの家

本書の申し込み先

NPO法人 秋桜舎 コスモスの家
〒214-0034
川崎市多摩区三田2-5-3
電話 044-932-2425
FAX 044-932-2441
E-mail cosmos@kinet.or.jp
HPアドレス
<http://cosmosnoie.com>

被災地を訪ねました

平成23年3月11日に起きた東日本大震災からはや4か月が過ぎました。

現地では、いまだ水やガスが復旧していないところもあります。また、福島原発の問題は、収束のきざしが見えず、不安が増すばかりです。

「コスモスの家」では、震災直後から被災地の皆様にと義援金募金活動に取り組みました。

4月29日締め切りで十六万四千六百六十一円が集まりました。

皆様の暖かいお気持ちに感謝いたします。

さっそく、東北関東大震災共同支援ネットワーク事務局があるNPO法人サロン「ひなたぼっこ」に送らせていただき、仙台市、石巻市、南三陸町を訪ねました。

義援金送金先のNPO法人全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)の理事長池田昌弘氏は、国の復興構想会議の検討部会メンバーとなつて「つながり」



NPO法人ひなたぼっこの前で
コスモスの家 渡辺ひろみ理事長
の維持継続と新たなつながりを
支援するコミュニティづくり
を提言しています。

三田地域調査結果最終報告会

が終わりました。

東日本大震災の影響で延期していましたが調査結果最終報告会が6月18日に開催されました。

テーマは「孤立しないまちづくり―緊急災害時に備えて今から出来ること」です。当日は、63名の参加があり、三田地域に関わる様々な方が集まり、交流しました。中には、噂を聞いてわざわざ大阪から駆け付けて下さった方もおり、非常に充実した、中身の濃い一日となりました。

大木 稔さんの総合司会で始まり、調査実施の呼びかけ人であるコスモスの家理事長渡辺ひろみの挨拶。

第一部では、明治大学助教山崎普先生と三田地域調査研究会の事務局長を務めているコスモスの家本田和隆と協働で発表が行われました。



「回答者の属性」、「近所付き合いや人間関係」、「地域との関わり、地域活動の参加」、「明治大学」 「現在の住まい」、「暮らし」 「将来の暮らし方」について、三田地域の実態や今後考えられる課題を発表しました。

明治大学理工学部建築学科園田研究室学生による被



災地・陸前高田市の現地報告では、「被災地の体育館の天井まで津波でいっぱいになった」という写真は衝撃的でした。

第一部のまとめとして、園田眞理子教授（明治大学理工学部建築学科）は、「大学としてもやれることは何でも協力してやっていきたい」と話され、明治大学と三田地域との関係については、学生が新たな「友人」「むすこ・むすめ」「お兄さん・お姉さん」でありたい、とも述べられました。

昼食は、スタッフやボランティアさんによるカレーライスを食べながら、参加者同士の楽しい交流があちこちで見られました。

第二部では3つの分科会が行われました。

Aグループでは、互いの支え合いや見守りが日常的にできるような地域ネットワークづくりについて参加された民生委員より報告がありました。

Bグループからは、明治大学農学部と共同で「花いっぱい運動」するなど、具体的な提案が全体会でも出されました。

Cグループでは、各地域の被害状況の様子や実際にマンションに閉じ込められた高齢者のケースについて話し合わせ、三田の地盤調査、日常的な備えや挨拶以上の関係の構築、救急医療情報キットの導入、避難所の容量や小・中学校との関係について課題としてあげられました、レイディアントシティで居住者が自主的に作成した防災マニュアル



ルについての紹介がありました。

最後に、本会のまとめとして、大阪千代田短期大学の山本副学長は、「現在東日本大震災で安否確認などの議論がされていますが、日常的な繋がりが無い地域では緊急災害時に何も出来ない状態に陥った」というケースを語られ、「日常的な繋がりがあるからこそ、緊急災害時にも人々の自主的な取り組みが可能となり、生きてくる。」と締めくくられました。

参加者の中に、これだけの地域調査や報告会等を開催して「このままで終わるのはもったいない」という意見があり、たくさん出された提案は事務局であるコスモスの家が一度預かり、今後の進め方について提案者と協議して進めていくことが確認されました。今後の具体的な取り組みについては、次の通りです。

- 今後の具体的な取り組みについて**
- ① 調査結果の出前報告と資料提供
 - ② ヒアリング調査
 - ③ アクシオンプランの提供
 - ④ 三田地域ネットワーク掲示板立ち上げ
 - ⑤ 一人暮らしの方対象の「だんご汁の会」などです。

コスモスの家事務局長 本田和隆記



★絵をたのしむ会

月初め、第一木曜日の午後のひととき、みなさんと絵を画いて楽しんでいきます。

それぞれ生徒さんのご自宅の庭などで丹精されたお花の写生が中心ですが、大きな作品にする方や、絵はがきにと、ちよつと楽しむ方など、それぞれですが、出来上がった作品にサインを入れて完成。

額に入れると一段と映えて見えるのもうれしい驚きです。

栗山先生の助言をもとに学んでいます。

ちよつと画いてみたいなーとお気持ちのある方、どうぞご参加ください。

今は、色鉛筆と水彩画が中心の教室です。

(杉村敦子記)



★マイ・エゴリョウク

今、不要になった傘の部分を利用してリュック作りをしています。

バックやボトル入れなど、リサイクル作品をいろいろ作っていると、器用な利用者さんに毎週火曜日にご指導いただいています。

皆さんには、材料集め、洗濯、アイロンがけの前準備をしておいてもらい、裁断から色柄合わせ、手縫いと、4回目を経過しました。

さすがにこの年代の方は、裁縫はお手の物と見え、運針もスムーズです。

みなさんとても集中し、熱中して一時間はあっという間です。

針はコスモスの家で用意し、利用者さんの持ち込みは厳禁、管理には十分気を付けていきます。

家で進めてくる方、2つも3つも同時進行している方、みなさん少しずつ出来上がっていくのがとてもうれしそうです。

(井口絹代記)

